

第2回 東員町みらい会議

2019年12月7日 10:00~12:00 役場 201~203 会議室

「タイムスリップ」

第2回会議の前半では、前回に引き続き今の東員町を考え、今回は弱みを考えました。そして後半では東員町の未来について考えました！



進め方

今を考える

らしさ
魅力
変えるべき
不足



未来を考える

40年後の
あるべき姿

今の東員町を考える「東員町に足りないこと、変えるべきこと」

前は東員町の魅力として、強みをあげていきました。しかし強みがあれば弱みもあります。今回は日ごろ東員町に住んでいて感じている足りないこと、変えるべきことを自由にあげていきました。

- 東員町と聞けば「これ」と言えるもの
- 町民の方の町への関心
- 歩道（高齢者や子ども）自転車への配慮
- 少子高齢化の対策に関心が少ない
- 空き家がどんどん増えている
- 高齢者向けの交通手段
- 農業を後継していく人
- 名産品が欲しい
- 子育て支援センター、児童館、保育所
- 商店が少ない。減っていく
- 活動の格差 集まりの好きな人 一人であるひと
- 観光資源
- 町内の情報の伝え方
- 若者が育っていない地域
- 飲食店、宿泊施設

みらいの東員町を考える「40年後はどうなっている？どうあるべき？」

未来へタイムスリップしたつもりで、40年後のあるべき姿をイメージしました。

- 老人が元気であるべき みんなが元気であるべき
- 災害に強いまち
- 人口減少で高齢者の働き手は重宝
- 若い人が増えている
- 人が集まる 人のにぎわい
- 車は全部シェア オート運転
- 遠くても医療が受けられる
- 名産品がうまれる
- 東員町といえば ヴィアティン
- ドローンが空を飛んでいる
- AIに負けない思いやり、やさしい雰囲気作りが必要
- 通信技術の発達、テレワークが進む
- 緑が豊かなままである
- 子どもが多く暮らしているべき、子育てしやすい町であるべき
- 外国人をただの労働者ではなく 文化的に交流の場を作る
- 健康寿命が100歳になっている
- 人が生涯現役で働いている

地域別のまちづくりミーティング 2019年11月16日、17日、23日、24日

地域別の未来を考える機会として、町内6つの地域の方を対象に「まちづくりミーティング」を開催しました。ここで出た意見やアイデアもみらい会議の内容に盛り込みました。



「第1回、第2回会議とまちづくりミーティングの意見を整理」

今の東員町の強み、弱みをふまえて、未来の東員町のあるべき姿を考え、みなさんから出た意見をジャンル別に分けると次の20種類に分けられました。この20の視点が東員町のあるべき姿を実現するうえで、重要な視点であると分かりました！

- 環境
- 交通
- 子ども子育て
- 安全安心
- 消費サービス
- コミュニティ
- 行政
- 施設
- 教育
- 人
- 歴史
- 催し
- 文化
- 仕事
- 農業
- 観光
- 特産品
- 医療介護
- 情報
- 土地利用